



平成 23 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(JASDAQ・コード 7746)
問合せ先 執行役員総務人事部長 秋山 仁志
電 話 04-7137-3111

業績予想の修正及び特別利益の発生に関するお知らせ

平成 22 年 11 月 11 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の連結及び個別業績予想の修正についてお知らせいたします。

また、第 3 四半期連結会計期間において単体決算で特別利益が発生していますのでお知らせします。

記

1. 平成 23 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|--------------------------|-------|---------|---------|-----------|
| 前回予想 (A) | 6,660 | 670 | 580 | 510 |
| 今回修正 (B) | 6,300 | 780 | 680 | 620 |
| 増減額 (B - A) | △360 | 110 | 100 | 110 |
| 増 減 率 (%) | △5.4 | 16.4 | 17.2 | 21.6 |
| (ご参考) 前期実績(平成 22 年 3 月期) | 5,625 | 239 | 356 | 262 |

2. 平成 23 年 3 月期個別業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|--------------------------|-------|---------|---------|-----------|
| 前回予想 (A) | 6,560 | 360 | 320 | 480 |
| 今回修正 (B) | 6,240 | 450 | 420 | 680 |
| 増減額 (B - A) | △320 | 90 | 100 | 200 |
| 増 減 率 (%) | △4.9 | 25.0 | 31.3 | 41.7 |
| (ご参考) 前期実績(平成 22 年 3 月期) | 5,514 | △51 | 36 | 215 |

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想数値の修正

当社グループの主力製品であるプロジェクター用反射鏡およびフライアイレンズは、第3四半期連結累計期間までは、販売が堅調でした。しかし、平成23年1月から3月にかけて、期末の在庫調整の影響等を受け、売上高が減少傾向になるとみています。

また、平成22年12月に始めた新潟岡本硝子株式会社のガラス溶融炉の定期炉修は順調に進み、平成23年2月中に量産開始の予定です。この炉修期間において、人員の配置換えなどにより、固定費によるコスト増を想定より抑えることで、営業利益は予想より増加致します。

また、炉修を控えて新潟岡本硝子株式会社では、反射鏡のガラス基板の増産を行いました。その良品率が向上したことも営業利益が増加した理由です。

さらに、岡本硝子株式会社の本社工場及び高田工場においても原価低減活動が順調に進んでおります。

なお、平成23年1月以降の為替レートは、想定していた1ドル80円より円安で推移することが予想され、為替差損は想定より減少する見込みです。

これらの理由により通期連結予想の売上高は、前回予想を360百万円下回り6,300百万円の予定です。営業利益は前回予想を110百万円上回り780百万円、経常利益は100百万円上回り680百万円、当期純利益は110百万円上回り620百万円の予定です。

(2) 単体業績予想数値の修正

連結業績予想数値の修正に記載した理由に加えて、単体業績では債務保証損失引当金戻入益により、当期純利益が改善する見込みです。

新潟岡本硝子株式会社の純資産が平成22年10月から12月の間で増加したため、第3四半期に特別利益として債務保証損失引当金戻入額80百万円を計上しました。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後の要因により予想数値と異なる場合があります。

4. 特別利益の発生

連結子会社の新潟岡本硝子株式会社の銀行借入について当社が債務保証をしていることから、将来の債務保証損失の発生に備えるため、当社は債務保証損失引当金を計上しておりますが、第3四半期連結会計期間において、新潟岡本硝子株式会社が80百万円の純利益を計上したことから、特別利益として債務保証損失引当金戻入80百万円が発生いたしました。平成22年11月11日に開示いたしました債務保証損失引当金戻入230百万円と合せて、第3四半期連結累計期間の債務保証損失引当金戻入は310百万円となります。なお、この特別利益は単体決算のみに計上されません。

以上